



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban



冬の競技大会

12月17日高見教室にて冬の競技大会を実施、32名の生徒が集まり、そろばん・あんざん・読上げ算と珠算フルコースを競い合いました（後日参加する生徒が8名、計40名の生徒が参加）。

これまで東三珠算競技大会という名称で毎年12月に行ってききましたが、今年から名称も内容もリニューアルして再始動。正式な大会名は「そろばんチャレンジ通信競技大会」、種目はかけ算・わり算・みとり算・あんざんの4科目計1000点満点で競い合うスタイルとなり、通信大会なので参加者が一堂に会する必要はなく、全国各地のそろばん教室でそれぞれ実施する方式。問題は易しい問題から徐々に難易度が上がっていくピラミッド方式ですが、高得点を取るためには可能な限り多くの問題を暗算で素早く計算してスキルが求められます。さらに折角みんなが集ったのにプリント問題だけでは盛り上がり欠けるので、当塾で独自に読上げ算を追加したのが今回の冬の競技大会です。

今大会は学年・級位に応じて2グループに分けることなく、小学校2年生から中学生まで・6級から段位までが同じ場所で同じ問題に挑戦するため、低中学年の生徒からすると難しい問題は全く歯が立たない一方で、ハイレベルな計算をラクラクこなす高学年生を目の当たりにして本当にスゴいなあ～と感心したかもしれません。自分も〇年後はあのレベルになれるように頑張ろう！という目標や意欲をもって今後の練習に励んでください。

今年は春の読上げ算大会、夏休みパチパチ競技会、秋の読上げ算大会、今回の冬の競技会と1年間に4回の大会を実施しました。参加した人は教室で普段やっている検定試験向けの問題とは、質も量も条件も異なるさまざまなタイプの問題に触れることで新たな気付きや発見もあったことでしょう。来年もドンドン競技会を行っていく予定ですので、参加資格のある生徒は積極的に参加することをお勧めします。新たな自分自身を再発見しよう！

△ チャレンジ通信大会の成績発表について ▲

- ◆そろばんチャレンジ通信大会の学年別順位は来年1月下旬の発表予定。参加人数は各学年ごとでおよそ70名から100名前後となる見通し。
- ◆優秀な成績をおさめた生徒は豊川珠算教育連盟（豊川市と新城市にある全国珠算教育連盟のそろばん教室）からトロフィーと賞状が授与される（今回の参加費用の半額相当も豊珠連が負担）。
- ◆来月はチャレンジ大会全体の中での順位と同時に、豊川珠算教育連盟（76名が参加）の中での順位も発表される予定。一粒で2度おいしいぞ！…ってわかる人いるかな？もしかしたら自分は入賞できるかも？って自信のある人は期待しながらジッと待っていてください！

*2023年一年間、どうもお世話になりました。皆さんがより一層ソロバン学習の面白味や優れた点を実感できるよう、そして今よりも確実にステップアップするため本当に理解できるレッスンができるよう心掛けていきます。来年もよろしくお祈りします。



◆ 読上げ算の上位入賞者（30点満点） ◆

順位	学年	名前	そろばん	あんざん	英語	合計
1位	2	鈴木 菜々花	3	4	2	9
1位	3	北國 美伶	2	5	2	9
3位	3	中末 結花	3	4	1	8
1位	4	鈴木 桃寧	6	9	5	20
2位	4	影山 琴	4	4	4	12
3位	4	藤原 羽菜	3	6	2	11
1位	5	首藤 菜仁	7	9	7	23
2位	5	中末 妃愛	5	6.5	5	16.5
3位	5	長谷川 瑚桃	4	4.5	6	14.5
1位	6	北國 彦希	8	8	6	22
2位	6	杉石 美心	6	7.5	8	21.5
3位	6	伊藤 彩羽	8	10	3	21
1位	中1	伊東 大輝	8	10	8	26